

事務事業名		障がい者成年後見制度利用支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子		
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 相談体制の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	4045	一般	3	1	2	障がい者成年後見制度利用支援事業						
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成25年度～年度		根拠法令 条例等	障害者総合支援法						
	実施方法		直営		事業分類		支援事業		リーディングプロジェクト		該当なし	
	市長マニフェスト		該当なし		リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
障がい者の権利や財産を擁護するために、成年後見制度の市長申立に要する経費や成年後見人等の報酬の助成等を行う。			平成26年度は、市長申立が5件であった。								
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			障がい者成年後見人制度の市長申立数	件	2	5	2	3	3		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
権利擁護のために市長申立が必要な障がい者で。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			市長申立が必要な障がい者数	人	2	5	2	3	3		
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
障がい者が成年後見人制度の市長申立を利用することにより、権利の擁護を図ることができる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			成年後見人制度の市長申立件数/市長申立が必要な障がい者数	%	100	100	100	100	100		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
安心して生活できる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			相談支援事業所数	所	3	6	4	5	6		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円	62	34	251	251	251			
	県支出金	千円	31	17	125	125	125			
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	31	21	196	196	196			
	事業費計(A)	千円	124	72	572	572	572			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			通信運搬費	6	通信運搬費	16	報奨金	336	報奨金	336
			手数料	118	手数料	56	通信運搬費	7	通信運搬費	7
				手数料	229	手数料	229	手数料	229	
人件費	人	1	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	20	30	30	30	30				
人件費計(B)	千円	78	118	118	118	118				
トータルコスト(A)+(B)	千円	202	190	690	690	690				

事務事業名	障がい者成年後見制度利用支援事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	------------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成24年度から障害者自立支援法の改正により地域生活支援事業のなかで成年後見制度利用支援事業が市町村の必須事業として補助対象事業になった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成24年10月から障害者虐待防止法が施行、更に平成25年4月から障害者総合支援法が施行、今後、益々障がい者の権利や財産の擁護について強化されて行くものと考えられる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	施設と医療機関から成年後見制度の市長申立について相談があり、内容を確認すると市長申立要件に合致することが確認された。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は、政策体系に結びついていますか？(まちづくりのどのような課題解決に貢献すると考えられますか？)	結びついている	理由・改善案	低所得の障がい者の権利を擁護する成年後見制度は、相談支援体制を充実するものであるため、意図と結果は結び付いている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	成年後見制度の市長申立をした場合、その費用は市が負担しなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	成年後見制度は、障がい者の自立した生活の支援に結び付く。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	この事業の進め方は手順が決っており、事務事業のやり方等を見直すことはできない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	法に定められた制度である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	受益者負担は制度上ない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
成年後見制度は、障がい者の権利や財産を擁護する制度であり、これに替わる別の制度ができれば終了になる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			